

環境保全センター活動報告(2022年4月～2023年3月)

1. 講演会・講習会・セミナー

- 化学物質に関する講習会
前期 e-learning教材(WebClass「化学物質管理に関する講習会」)による講習会
後期 e-learning教材(WebClass「化学物質管理に関する講習会」)による講習会
- セミナー
3月27日 第2回環境保全セミナー(オンライン、横山・花本講演)

2. 学内委員会

- 環境保全センター会議
第1回 5月書面 第2回 6月書面 第3回 9月書面
- 環境調査チーム会議
第1回 7月11日 第2回 1月
- 環境調査チーム現地調査
前期 8月1日(理工RI)、8月2日(自然科学1号館4-5階)、8月5日(医学類E棟・G棟、疾患モデル
総合研究センター)
後期 2月27日(自然科学5号館1階, 6-7階)、3月2日(人間社会3-4号館, 総合教育棟)、3月6日
(自然科学1号館6-7階)
- 環境マネジメント委員会
第1回 9月書面 第2回 1月25日
- 環境報告書編集小委員会
第1回 4月26日 第2回 9月書面
- 安全衛生マネジメント委員会
第1回 6月27日 第2回 11月1日 第3回 3月15日
- 環境保全センター運営委員会
第1回 4月11日 今年度の化学物質管理講習会及び現地調査について、他
第2回 5月16日 今年度の廃液・廃棄物の収集のスケジュール、廃液タンク識別カードの記載
内容について、他
第3回 6月20日 角間排水モニター槽での水質検査について、他
第4回 7月11日 角間排水モニター槽におけるVOC測定業務の廃止、環境保全センターが保
有する分析機器の修理について、他
第5回 8月22日 角間排水モニター槽におけるVOC測定業務の廃止、新実験棟(自然科学3号
館横)の廃液について、他

- 第 6回 9月12日 角間排水モニター槽におけるVOC測定業務の廃止について、他
- 第 7回 10月3日 来年度の化学物質管理システムの保守、新実験棟(自然科学3号館横)の廃液について、他
- 第 8回 11月14日 来年度以降の化学物質管理システムについて、他
- 第 9回 12月5日 来年度以降の化学物質管理システム、環境保全セミナーについて、他
- 第10回 1月16日 年度末の廃液収集、環境保全セミナーについて、他
- 第11回 2月13日 来年度以降の化学物質管理システム、環境保全セミナーについて、他

3. 学会活動(研究に関するものを除く)

- 6月30日 大学等環境安全協議会実務者連絡会 (オンライン、浜田出席)
- 7月14-15日 第40回大学等環境安全協議会総会・研修発表会 (オンライン、花本・浜田出席)
- 12月1-2日 第38回大学等環境安全協議会技術分科会 (オンライン、横山・花本出席)

4. 研究活動

● 研究費

環境省 環境研究総合推進費 革新型研究開発(若手枠)「国内河川における陽イオン界面活性剤の濃度予測手法の構築」(令和4~6年度、花本)

科研費 基盤研究(B)「家畜糞尿管理方式の地域性を考慮した家畜由来薬剤・微生物による水圏汚染のモデル化」(令和3~7年度、花本)

クリタ水・環境科学振興財団 国内研究助成「国内河川における動物用医薬品の濃度予測モデルの開発」(令和2年10月~5年9月、花本)

● 論文発表

Hanamoto, S., Yamamoto-Ikemoto, R. In-stream sorption of azithromycin and levofloxacin in a river receiving sewage treatment plant effluent. *Environmental Pollution*, 2022, 307, 119568.

Hanamoto, S., Yamamoto-Ikemoto, R., Tanaka, H. Spatiotemporal distribution of veterinary and human drugs and its predictability in Japanese catchments. *Science of the Total Environment*, 2023, 867, 161514

● 国際シンポジウム発表

Tanaka H.; Ohara, M.; Yamashita, H.; OHanamoto, S., Prediction and management of emerging chemicals in the water environment. The 24th UK-Japan Annual Scientific Workshop on Research into Environmental Endocrine Disrupting Chemicals and Chemicals of Emerging Concern, October 31st 2022, online

● 国内学会発表

○花本征也;南雄己、都市河川における陽イオン界面活性剤の存在実態と動態. 第57回日本水環境学会年会, 2023年3月15日, 愛媛県松山市

5. 教育活動

GS科目

「環境学とESD」担当(花本, Q1・8コマ, Q2・8コマ, Q3・8コマ, Q4・8コマ)

専門科目

「課題探究ゼミナールI」(理工学域物質化学類) 分担(花本, Q3・1コマ)

「安全化学」(理工学域物質化学類) 分担(花本, Q3・1コマ)

大学院科目

水環境保全工学 分担(花本, Q4・1コマ)

環境・エネルギー工学総論A 分担(花本, Q3・1コマ)

6. 環境保全センター人事について

4月1日 センター長 横山 明彦 着任

6月1日 技術補佐員(研究費雇用) 南 雄己 着任